



ばいりん

令和6年9月号

横浜市立梅林小学校
TEL 045-773-0341
FAX 045-772-4862



子どもたち一人ひとりが素敵な花を咲かせるために

副校長 小山内 和正

8月が終わろうとしています。今年の夏も酷暑続きではありましたが、9月を目の前に、ほんの少しだけ朝夕の過ごしやすさを感じる今日この頃となりました。うだるような暑さに辟易しながら過ごしがちな近年の夏ではありますが、それでも終わりが近づくと、どこことなく寂しさを感じずにはられません。皆さんはいかがでしょう。

私事ではありますが、数年前より夏野菜や冬野菜、マリーゴールドや日々草、パンジー、ビオラといった野菜と花の栽培に取り組んでいます。以前勤務していた学校の子どもたちに、近隣の農家の方々が野菜づくりの指導をしてくださる機会があり、その調整役を務めることになったことがきっかけです。丁寧な土づくりと育てたい野菜や花に適した肥料、そして適切な水やりと世話の仕方等、それぞれ野菜作りの基礎・基本をご指導していただきました。

農家の方たちも大変不思議がっていましたが、仕入れ先が同じ苗や種子であっても、同じ土壌そして同時期に育てた花や野菜であっても、そして、同じように愛情を注いで一生懸命世話をしている、元気に丈夫に育つものもあれば、何故だか根や茎が弱いもの、病気になってしまうものもあるということです。そうしたとき農家の方たちは、その一株一株に応じた対応を行うのだとおっしゃっていました。葉の色の健康状態を見て栄養不足と感じたものには必要な栄養素の追肥を、水はけが要因と判断した場合は水やりの調整を、弱っている茎には支えを、場合によっては花や野菜に優しい自然由来の薬を与える等、一株一株ごとの状況に寄り添った対応を試みるのだそうです。

野菜作りや花の栽培は、天候不順や予期せぬ自然災害等により、思い通りにいかないことが多々あるとのこと。そうした中で、たった一つの株であっても「立派な実を付けてほしい。」「元気な花を咲かせてほしい。」という強い願いと愛情をもち続け、努力を重ねる農家の皆さんのご苦勞に、ただただ頭が下がる思いでした。そのときの経験は、私にとってかけがえのない経験となり、今年の夏も、トマトやナス、キュウリにピーマン、しし唐やミニトマト等、大収穫を迎えることができました。9月の下旬をめどに改めて土づくりをし、今年も冬野菜は大根にカブ、人参やホウレンソウ、ブロッコリーに取り組もうと、今からわくわくしています。

さて、長かった夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。学校の主役は何といっても子どもたちです。その主役一人ひとりに、その子らしさが輝く素敵な花を咲かせることができるよう、私たち梅林小学校の教職員は、一丸となって教育活動に尽力して参ります。

今後とも、保護者の皆様・地域の皆様の温かいご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。